



Social & Environmental Report

マブチグループ
社会環境報告書 2014

夢に力を

マブチモーターは「夢」とともに生まれ、育ちました。

子ども達の夢、技術者の夢、お客様の夢…。そうした多くの人々が描く「夢」に応えることで、私達は歩み、成長してきたのです。

そして変革の時代21世紀を迎えて、「モーター」という小さな機能部品は、今も世界中の人々の暮らしや社会のさまざまなシーンで新しい「夢」を創出し続けています。

私達は、今という時代、そして未来を見据えて、より良い製品をより安く安定的に世界中の皆様にお届けしていくことで、その「夢」の一つひとつを動かす「力」を生み出し続けていきます。



会社概要

■ 商 号	マブチモーター株式会社 MABUCHI MOTOR CO.,LTD.	■ 連結業績	売上高 1,084億1百万円 当期純利益 105億1千9百万円 (2013年12月期)
■ 創立年月日	1954年1月18日	■ 本社所在地	千葉県松戸市松飛台430番地 〒270-2280 TEL:047-710-1111(代表)
■ 事業内容	小型モーターの製造販売	■ 技術センター	千葉県印西市竜腹寺280番地 〒270-2293 TEL:047-710-1222(代表)
■ 資本金	207億481万円		
■ 代表者	代表取締役社長 大越博雄		
■ 従業員数	本社:717名 グループ:28,132名 (2013年12月末現在)		

マブチの環境活動の歩み

1993年	「経営基軸」において「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」ことを明文化	2002年	六価クロムフリーモーターのサンプル出荷開始
1997年	環境問題への具体的対応を図るため、「環境管理委員会」を設置	2004年	最新の省エネ技術を用いた本社新社屋竣工
1998年	マブチグループの「環境基本方針」を制定	2006年	全製品を、欧州RoHS/ELV指令適合品に切り替え全拠点で「グリーン調達説明会」を開催
1999年	ISO14001の認証取得	2008年	「環境報告書」を「社会環境報告書」に変更（社会的な取り組みについても掲載）
2000年	グリーン調達活動開始（モーターのカドミウムフリー化代替材選定評価完了）	2012年	環境基本方針を改定し、「マブチグループ環境方針」とする
2001年	「環境報告書」を発行開始 はんだの鉛フリー化量産準備完了		

CONTENTS

■会社概要	01	■編集にあたって	02	■トップメッセージ	03
-------	----	----------	----	-----------	----

社会性報告

■コーポレートガバナンス	05
■コンプライアンス	06
■リスクマネジメント	07
■活気のある職場づくり	10
■ものづくり・教育に対する支援活動	13
■地域支援活動	15

環境報告

■環境マネジメント	17
■グリーン調達	18
■環境にやさしい製品づくり	19
■環境にやさしい企業運営	21
■環境コミュニケーション	23
■環境リスクマネジメント	25
■環境データ	26

編集にあたって

当社は、2001年に「環境報告書」の発行を開始し、2008年からは、報告書のタイトルを「環境報告書」から「社会環境報告書」に変更し、併せて掲載内容も当社の地球環境保全のための環境活動実績に加え、社会的な取り組み実績の報告を始めました。

本報告書を通して、当社の企業市民としての社会的

責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、当社グループと関わる全ての方々とのコミュニケーションをさらに充実させ、より良い今後の活動を目指してまいります。

なお、環境配慮の観点から、印刷物ではなく、電子化(PDF)した資料をホームページに掲載しています。

対象期間：2013年度(2013.1.1～2013.12.31)

対象範囲：モーターの設計、製造、販売、サービスの提供に関わる環境活動及び社会的な取り組みの内容

対象組織：マブチグループ

[本社]

日本 ・マブチモーター株式会社

[生産拠点]

中国

- ・萬寶至實業有限公司(香港マブチ)
- ・万宝至馬達大連有限公司(大連マブチ)
- ・万宝至馬達(江蘇)有限公司(江蘇マブチ)
- ・万宝至馬達(東莞)有限公司(東莞マブチ)
- ・万宝至馬達瓦房店有限公司(瓦房店マブチ)
- ・万宝至馬達(鷹潭)有限公司(鷹潭マブチ)
- ・万宝至精工(東莞)有限公司(路東マブチ)
- ・東莞道ジャオ万宝至馬達有限公司(道ジャオマブチ)
- ・万宝至馬達(江西)有限公司(江西マブチ)
- 台湾
- ・華淵電機工業股份有限公司(台湾マブチ)
- ・萬寶至馬達股份有限公司(高雄マブチ)
- ベトナム
- ・MABUCHI MOTOR VIETNAM LTD.(ベトナムマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR DANANG LTD.(ダナンマブチ)

[販売拠点]

- ・万宝至馬達(上海)有限公司(上海マブチ)
- ・万宝至馬達(上海)有限公司 重慶分公司(重慶マブチ)
- ・万宝至馬達貿易(深圳)有限公司(深圳マブチ)
- ・華淵電機工業股份有限公司(台湾マブチ)
- ・MABUCHI MOTOR KOREA CO.,LTD.(韓国マブチ)
- ・MABUCHI MOTOR (SINGAPORE) PTE.LTD.(シンガポールマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR (EUROPE) GmbH(ヨーロッパマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR AMERICA CORP.(アメリカマブチ)

発行：2014年5月（次回発行：2015年5月予定）

■トップメッセージ

モーター事業を通して国際社会への貢献を そして、子ども達の夢に力を



マブチモーターは、1971年に経営理念として「国際社会への貢献とその継続的拡大」を掲げ、すべての活動を貫く根本的な考え方として、時代を超え、国境を越え、その志は受け継がれております。

昨今、経済発展による資源・エネルギーの枯渇、食糧・水不足、格差や労働問題、環境破壊、生物多様性喪失といった社会的な問題が多々起きています。企業は社会から切り離されて存在することはできず、社会の永続なくして企業の永続はあり得ません。企業として当然であるガバナンスやコンプライアンス遵守、企業市民としての社会貢献活動等に加え、こうした社会的問題の解決に積極的に協力していくことが求められていると強く感じます。

このような環境下で、CSRや、社会と企業双方の価値を両立させ、企業の事業活動を通じて社会的な課題を解決していくことを目指すCSVの考え方は、当社の経営理念とまさに一致しております。当社の小型直流モーターは、軽量で高効率という特長を有しています。当社の技術と知恵を生かし、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献することこそ、専業メーカーであるマブチモーターの最重要使命と捉え、モーターの可能性

2014年5月
マブチモーター株式会社
代表取締役社長

大越 博雄

を徹底的に追求し、その価値を磨き上げることに邁進いたします。

また、当社は海外事業展開による進出国での雇用の創出、技術移転を行うことで、その国や地域の経済発展、人材育成に貢献してまいりました。さらに、企業市民としての社会貢献活動についても積極的に取り組んでおります。特に未来を担う青少年の「夢に力」を与えるべく、モーターを通じた教育支援を継続して行っています。モーターは子ども達にとって、楽しく、面白いものであり、モーターとの出会いは、「ものづくり」や「技術」に関心を持つきっかけにもなります。工作教室や出前授業での子ども達の目の輝きを見ると、彼らの今後の成長に夢がふくらみます。社会を創造する主役は人であり、特に次世代の技術者の育成は、国

際社会にとって極めて重要です。当社モーターとその「技術」、そして「ものづくり」を体験する活動を通じて、未来を担う人々の育成に貢献することができれば、私達の大きな喜びであります。

マブチモーターは本年1月に「創立60周年」を迎えることができました。あらゆるステークホルダーの皆様のおかげであり、心より御礼を申し上げます。世の中の子ども達が安全に楽しめ、かつ良質で安価な玩具用モーターを作りたいという創業期の思いを胸に、世界のマブチグループ全社員が、企業は社会に貢献するため、人々の幸せに寄与するために存在するとの認識を持ち、日々の活動に取り組んでまいります。皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

経営理念 国際社会への貢献とその継続的拡大

経営基軸

1. より良い製品をより安く供給することにより、豊かな社会と人々の快適な生活の実現に寄与する
2. 広く諸外国において雇用機会の提供と技術移転を行い、それらの国の経済発展と国際的な経済格差の平準化に貢献する
3. 人を最も重要な経営資源と位置付け、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる
4. 地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う

経営指針

1. 汎用性を重視した製品を開発し、その最適生産条件を整備する
2. 価値分析に徹した製品の開発改良と部品・材料の共通化を徹底する
3. 高度加工技術とムダの極小化によるコストダウンを追求する
4. 新市場を開拓し適正占有率を確保する
5. 適材適所による人材の活用と業務を通じた人材育成を行う
6. 環境負荷の極小化と安全の追求を基本とした企業活動を推進する
7. 長期安定的視点に立つ経営施策を推進する



基本的な考え方

当社は、小型モーター事業を通じた「国際社会への貢献とその継続的拡大」を経営理念に掲げ、その実現にこそ存立意義があるものと認識しております。

- ① 経営上の意思決定と効率的な業務執行が明確な区分をもって行われ、責任の所在が明かであること
- ② 適切な内部統制システムが構築され、運用されていること。すなわち、内部牽制システムと経営監視体制が有効に機能していること
- ③ 一般株主と利益相反のおそれのない独立役員が相当数選任され、経営監視機能の客観性及び中立性が確保されていること
- ④ 企業文化として、企業倫理とコンプライアンスの実践が、組織の社会的公平性を支え、全てのステークホルダーに対する信頼と期待に応える基本であるという認識がグループの全員によって共有されていること
- ⑤ 株主をはじめとするステークホルダーに対し、適正、公平、適時、明瞭に企業情報の開示を行うとともに、取締役会・監査役会等によるアカウンタビリティが確保されていること

当社は、これらが確実に実践されるための各種機能をより充実させていきます。

体制・システムの構築

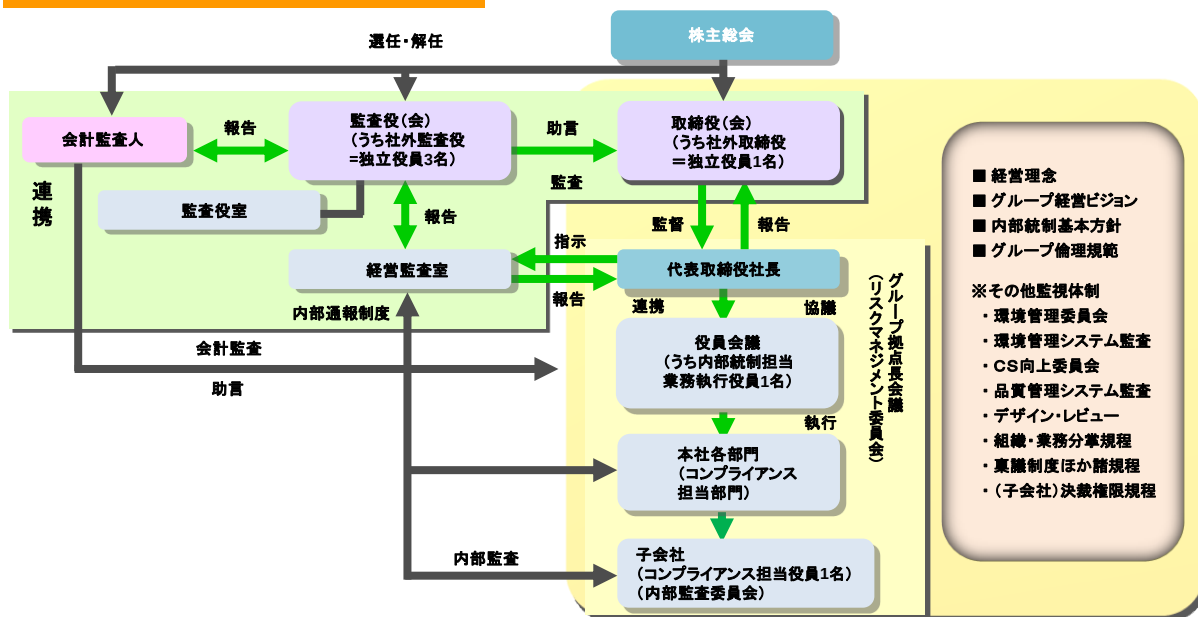
当社は、監査役制度を採用しており、会社法に規定されている会社の機関（独立役員を含む）、会計監査人等が、それぞれ法令に基づく機能を果たし、加えて当社独自で設置する役員会議、経営監査室（内部監査部門）その他の業務執行や内部牽制に係る組織によって当社ガバナンス全体の体制とシステムを構築し運営されています。

海外拠点においても、それぞれの国の法令等に基づく機関や当社の内部組織によって内部統制が実施されています。

グループ経営ビジョンを通してグローバルに企業文化や価値観を共有するとともに、海外拠点経営者会議をはじめとするマブチグループ全体の会議の開催や経営監査室による海外拠点の業務監査の実施などにより、マブチグループ全体の内部統制機能の向上に努めています。

また、当社は「内部統制基本方針」を制定し、リスクマネジメント体制やコンプライアンス体制の更なる強化、充実を図っています。

コーポレート・ガバナンス体制(模式図)





マブチモーター倫理規範

当社は、経営理念として掲げる「国際社会への貢献とその継続的拡大」を実現していく上で、各国・地域の法令・条例・規則などを遵守するのはもちろんのこと、社会から求められる企業倫理に沿った事業活動を行うことを大前提としております。

そのため、それらの行動や判断の基準を定めた小冊子「マブチモーター倫理規範」を発行し、当社グループ全役員・社員に配付しています。同冊子は、時代とともに変化するビジネス環境に適応するため、適宜改訂しています。

倫理規範の中でも特に重要な項目については、ルールや手順を整備し、また、必要な対象者に教育・研修を行い、その周知を図っております。

海外拠点に対しても、中国、アジアの生産販売拠点で関係者を対象に研修会を実施するなど、当社は、コンプライアンスを重視した経営を目指していること及び「マブチモーター倫理規範」の周知徹底を行い、コンプライアンス意識の向上を図ってまいりました。

2011年5月には、コンプライアンス体制の一層の強化・充実を図るため、本社取締役会承認のもと、グループ全拠点においてコンプライアンス担当役員を設置しました。コンプライアンス担当役員は、本社の内部統制担当役員による統括の下、個々の拠点におけるコンプライアンス活動に関する責任者として、拠点内の内部牽制の強化と自律的かつ継続的なコンプライアンス活動の推進に関する中心的な役割を担います。

さらに、2012年には、法改正等に対する適時対応に資することを目的として、全ての拠点において、「マブチモーター倫理規範」に係る法令監視体制を確立いたしました。

また、これらコンプライアンスに関する業務遂行の不備などの継続的な是正・改善を目的として、本社の

内部監査部門が、コンプライアンスに関するルールや手順の順守状況、その他の倫理に反する行為について、全海外拠点を含め、定期・不定期に監査を行い、その結果を経営トップに報告しています。

倫理規範ホットライン

コンプライアンスに関する情報の伝達や相談について、通常のルート（上司や組織部門の窓口など）とは別に、内部監査部門が管理する匿名性が担保された「倫理規範ホットライン」を設置しています。

また、この制度の利用の如何に拘らず、公益通報者保護法を遵守し、相談者の不利益を発生させないことを会社が約束するトップメッセージを、役員を含む全社員に発信しています。

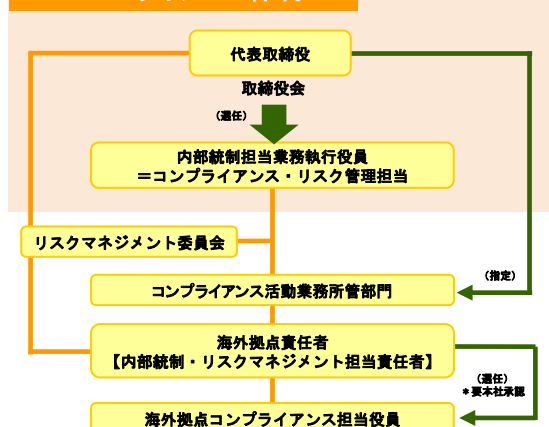
当社は、お取引先様とは日頃から誠実で公正なお取引引きと相互信頼関係の構築に努めていますが、社会的な不祥事が多発している情勢に鑑み、問題発生未然防止ならびに拡大防止体制を強化するために2008年より、「倫理規範ホットライン」の対象範囲を、社員のみならずお取引先様の一部に拡大しています。



【倫理規範基本方針（概要）】

1. マブチグループの全ての役員・社員は、会社の利益や業務に優先して、会社所在国・地域の法令・条例・規則及び国際ルールを守ります。
2. お取引先様をはじめ、株主・投資家、地域社会など広範な利害関係者への責任を十分認識し、社会倫理に反する行為を厳に慎みます。
3. 法規則、社会倫理の中でも特に注意を要する事項に関しては、規程類などに明確に記載し、周知徹底を図ります。そして、全ての役員・社員は、これらを誠実に守ります。

コンプライアンス体制





社会性報告

リスクマネジメント

当社が、経営理念を実現し社会的に有用な企業として永続的な成長軌道を確実なものにするためには、事業活動上のさまざまなリスクに対する適切な管理が求められています。

リスクマネジメント体制

リスク発生の未然防止やリスクが発生した場合の損害の最小化を目的として「リスクマネジメント委員会」を設置し、マブチグループ全体として最適な対応を可能とする体制を確立しています。また、この体制をベースに、緊急時における対応体制・方針・各種マニュアルなども整備しております。

リスクマネジメント委員会では、全組織的に対処すべき重大なリスクを

①人命（安全）確保 ②コンプライアンス

③情報セキュリティ ④生産・供給停止

に分類・特定し、それぞれリーダー部門を決め、経営陣と関連幹部社員とで連携を図りながら、グループ全体でのリスク対策活動を継続的に実行しています。

また、各部門が業務上個別に抱えるリスクへの対応については、マブチグループの目標管理制度に組み込まれ、トップマネジメントの承認、進捗管理のもと、部門ごとに展開しています。

地震リスクマネジメントの基本方針

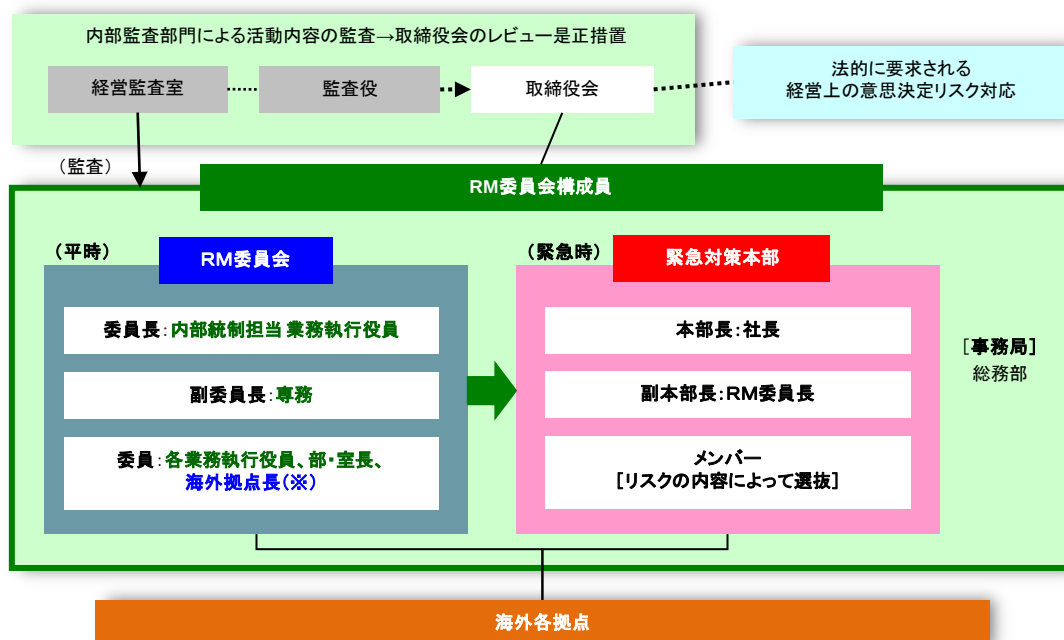
（抜粋）

- 人身の安全確保を最優先する。
- 会社資産の保全と被害の拡大を防止する。
- 地域社会への救援・支援に努める。
- 海外拠点における営業活動及び生産活動を継続し、供給継続に努力する。供給継続が困難となった場合、1週間以内に復旧する。



緊急対策本部
への報告訓練
（本社）

RM（リスクマネジメント）委員会の位置づけ



※ 海外拠点長は非常勤メンバーとする(RMに関して必要な情報共有は随時行う)



災害対応マニュアル&災害時用備蓄品

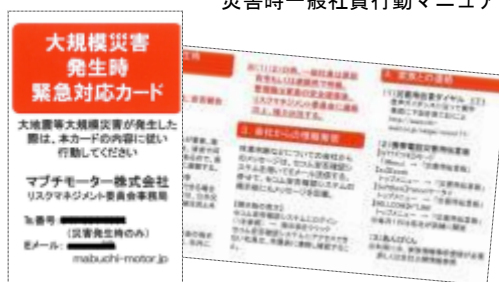
当社では、「管理職の初期行動・指示マニュアル」のほかに、「災害時一般社員行動マニュアル」の作成、「大規模災害発生時緊急対応カード」の配付、「安否確認システム（全社員対象）」の導入などを行うとともに、役員（緊急対策本部の設置・運営）はもとより、人事部門、総務部門（ビル管理業務委託先を含む）、情報システム部門などの災害時に重要な役割を担う部門において対応マニュアルを策定しております。

また、年に1回以上、防災教育や各種訓練（避難・通報・消火訓練、救急救護訓練、安否確認訓練、帰宅報告訓練ほか）を定期的実施し、全社員が落ち着いて適切な行動をとれるように努めております。

さらに、災害時に必要な備品・資機材や食料、生活用品を備蓄し、災害発生時の安全確保や帰宅困難者に対する備えにも万全を期しています。特に、地下水を飲料水として日常的に使用している当社は、断水時にも相当量の飲料水が確保できることから、松戸市と給水協定を締結し、地域の被災者に対する給水支援を行える準備もしています。



災害時一般社員行動マニュアル



大規模災害発生時緊急対応カード

資機材等の備蓄・管理 (抜粋)

- 帰宅困難者の発生に備えて、3日間生活できる分量の食料及びトイレ用水を備蓄する。
- 停電時の対策として、緊急対策本部運営及びコンピュータシステム保護のため必要な自家発電装置及び燃料(24時間稼動分)を備える。
- 災害時優先電話を本社屋に2回線常備する。
- 安全衛生委員会と協働し、設備・什器・備品等の転倒防止策を講じる。
- 施設・什器・備品等の復旧または応急措置、被災社員の支援、地域社会に対する支援を目的に、必要な機器・機材等を備える。
- 想定外の被害が生じ、または何らかの理由で社内生活が不可能となった場合に備え、近隣指定避難所の場所を確認しておく。



消防署指導のもと実施した
避難・消防・救助訓練（本社）



災害時避難訓練
（大連マブチ）



拠点の災害時負傷者救助訓練
（台湾マブチ）



地元消防局指導のもと、
自衛消防隊訓練を実施（江西マブチ）



情報セキュリティポリシー

当社は、私どもの活動がステークホルダーの皆様にもどのような影響を与えているかを真摯に見つめ、事業活動のあらゆる面で一層信頼される組織作りを目指しております。

当社は私どもが保有する情報資産の管理及び情報セキュリティ管理を適切に行い、情報の漏洩、改ざん、滅失、盗難等を防止することが企業の社会的責務の一つであると認識し、役員を含めた全ての従業員が情報セキュリティの必要性及び責任について理解を深めるとともに、ここに情報セキュリティポリシーを定め、情報セキュリティの確保に万全を期してまいります。

(体制)

1. 当社は、「リスクマネジメント委員会」を設置し、その活動を通じて、情報セキュリティに関する継続的な取り組み、評価、改善が可能な体制・仕組みを構築します。

(情報資産の保全・管理)

2. 当社は、情報資産を適切に分類、整理し、その重要性に応じた情報セキュリティ対策をとるとともに、情報の取り扱いについて細心の注意を払い、厳重に管理します。

(コンプライアンス)

3. 当社の役員、社員、その他の従業者（以下「当社の社員等」という）は、情報セキュリティに関する法令、社内規程及びお客様との契約上の義務を遵守します。

(教育)

4. 当社は、当社の社員等が情報セキュリティの重要性を理解し行動できるよう、必要な教育・訓練を継続的に実施します。

(本ポリシー等の見直し)

5. 当社は、法令や諸制度の変更、その他の社会環境の変化、社内外の監査の結果等を踏まえて、必要に応じて本ポリシー及び関連社内規程類の見直しを行います。

個人情報保護方針

当社は、個人を識別し得る情報（以下「個人情報」という）を適切に取扱い、保護することを当社の重要な責務であると認識し、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めます。

1. 個人情報保護の社内体制

当社は、業務上使用する個人情報について、その適正な取扱いを実現するための社内体制を構築します。

2. 個人情報の適切な取得及び利用について

当社は、個人情報の取得に際しては、利用目的をできる限り明確にし、適法かつ公正な方法によって取得します。また、取得した個人情報は、特定した利用目的の範囲内でこれを利用します。

3. 個人情報の第三者への非開示について

取得した個人情報は、以下の場合を除き、第三者に提供、開示しません。

- ①ご本人の同意を得た場合
- ②個人情報の取得時にご本人に通知または公表した利用目的の達成に必要な範囲内で、当社の子会社、代理店、秘密保持契約を締結した業務委託先に提供、開示する場合
- ③法令により開示が認められている場合
- ④その他、法令等に照らして必要があると判断した場合

4. 個人情報に関するお問合せへの対応について

当社は、ご本人からの個人情報に関するお問合せについては、所定の窓口にて対応いたします。

5. 個人情報の安全管理について

当社は、保有する個人情報の紛失、改ざん、漏洩を防止するため、必要なセキュリティ対策を行います。

6. 役員・従業員等への教育について

当社は、当社の役員・従業員等（契約社員、パートタイマー、アルバイト、派遣社員を含む）が個人情報の重要性を理解し、適切に取り扱うよう教育、啓蒙活動を実施します。

7. 個人情報に関連する法令等の遵守について

当社は、個人情報の取扱いに関して、個人情報の保護に関連する法令、規範を遵守します。

8. 個人情報保護の取り組みの継続的な改善について

当社は、個人情報の保護に関する取り組みについて、継続的な改善に努めます。



社会性報告

活気のある職場づくり

当社は、経営基軸の一つに「人を最も重要な経営資源と位置付け、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる」を掲げ実行しています。海外拠点も含め、社員としての基本的権利を尊重し、社員一人ひとりが自己実現、自己成長ができ、働きがいを感じられる職場づくりに積極的に取り組んでいます。

人事評価制度・自己申告制度

当社の人事評価制度は、さまざまな役割を果たす社員一人ひとりの貢献を的確に把握し、会社の成長と社員の成長がともに実現できることを目指しています。そして、この制度をマネジメントツールとしてだけでなく、人材育成ツールとしても積極的に活用しています。

また、社員一人ひとりのやる気と能力を引き出し活用するためには、「適材適所」と「職場風土醸成」が重要です。それを検討し実現する上での必要情報として、社員の職務に対する意識を把握することを目的とした定期的な社員の自己申告を実施しています。

短期実務交流制度

考え方の共有や協働意識の醸成、総合力アップを狙いとして、海外拠点スタッフの本社への出張機会を意識的に設け、実務を通じた交流を2009年から実施しています。今後もこの制度を充実させながら、継続的に実施していきます。



拠点総経理室長と本社企画部門との業務交流会（本社）

従業員が学び成長できる研修制度

会社が行う教育（研修）制度は、研修を受けた社員が自律性を持ち、自ら学び成長していくための一つのプロセスと考えています。そのため、新入社員研修、若手中堅職研修、中堅職研修、管理職研修、経営戦略講座など、社員のレベルに合わせた研修・講座を随時行っています。



ワーク・ライフ・バランス

当社は、社員がやりがいや充実感を持ちながら働くとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じた働きやすい環境づくりを推進しています。

そこで、厚生労働省が奨励する「ファミリー・フレンドリー施策」を展開し、仕事と育児・介護が両立できるように次の施策を整備し、社員が活用しています。

- ・ 育児休業（3年）
- ・ 育児休業中の自己啓発支援
- ・ 配偶者出産時休暇制度：取得率100%
- ・ 不妊治療のための低利融資制度
- ・ ベビーシッター育児支援割引券の利用
- ・ 介護休業（1年）
- ・ 介護休業中の自己啓発支援
- ・ 育児・介護のための勤務時間短縮や所定外労働免除などの措置の導入

障がい者雇用促進

当社は、障がいのある人がない人と同様に、その能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指して雇用を促進しています。

大連マブチでは、現在全従業員に占めるその割合が、中国の雇用条例数値を上回る1.7%（2013年12月実績）となっており、社内での生活、仕事などあらゆる面において、障がいを持つ人の特徴を配慮した措置を設け、一人ひとりが快適に仕事ができる環境づくりに努めています。



障がい者が働きやすい職場づくり（大連マブチ）



心と身体の健康への取り組み

社員の心と身体が健康で、生き生きと働けること社会生活の基礎であり、あわせて企業の活力向上につながると考え、本社では20年以上前からメンタルヘルス調査を実施するとともに、社内カウンセラーの設置や「メンタルヘルス講習会」の開催をしています。

また、人間ドックを受診希望する35歳以上の社員に対する受診費用補助や、健康診断後に産業医による健康相談、生活習慣病予防のための「社員健康教室」開催などを行っています。

その他、2013年には、社員の安全意識を高めるため、地元警察署の指導で、自転車安全運転教育も行いました。



本社自転車安全運転教育（本社）

海外拠点においても、それぞれの国や地域の状況に合わせて、社員の心と身体の健康への取り組みを展開しています。



社員向け健康教育（道ジャオマブチ）

海外拠点での人材育成の取り組み

大連マブチでは、人材育成のために、通信教育によって短期大学、大学を卒業した社員に対して奨学金を贈る制度を設けています。

また、各職場において技能競技会を開催しています。競技会で優秀な成績を獲得した社員には、総経理より表彰状が授与されます。



巻線技能競技会



技能競技会の優勝者

教育支援制度・資格取得奨励制度

◇英語学習支援制度

社員が国際社会への貢献を具現化できるよう、会社全体で英語を学習する風土づくりと各種施策（「TOEIC受験」の機会提供、TOEIC対策講座、短期留学制度、トレーニー制度など）を行っています。



TOEIC受験風景（本社）

◇資格取得奨励制度

社内に「自ら学ぶ風土」を醸成し、業務遂行に役立つ知識を幅広く習得することを狙いとして「資格取得奨励制度」を設け、自己啓発を促進しています。

また、「マブチビジネススクール」（通信教育）を毎年2回開講し、受講修了者にはその費用を助成することで、多くの社員が自由に積極的に学べる風土を醸成しています。

◇多目的自習室を開設

語学や資格取得に向けて、個人の目標・レベルに合わせた学習や、グループディスカッションなどに利用できるように部屋を社内に開設しました。ここには、パソコン・無線インターネット環境・各種教育ソフト・書籍・雑誌などを用意し、各自が業務前後・休み時間などを活用して自己啓発に役立てるようになっています。



多目的自習室（本社）



社員や家族が楽しめるイベントの開催

当社は会社で働く全ての人々のコミュニケーションの円滑化と社員の愛社精神及び一体感の醸成を目的に、さまざまな活動を行っています。

海外拠点でも、定期的にスポーツ大会や社員旅行、文化祭など、社員が参加できるイベントを実施しています。



ボウリング大会（本社）



クリスマスシーズンに
構内中庭のモミの木を
LEDランプで点灯
（本社）

海外拠点の社員参加イベント



社員全員参加で
実施した納涼パーティー
（大連マブチ）



多目的ホールでの
文芸披露会
（瓦房店マブチ）



スポーツ大会
（大連マブチ）



社内運動会（鷹潭マブチ）



社員旅行（瓦房店マブチ）



社会性報告

ものづくり・教育に対する支援活動

当社は、経営理念「国際社会への貢献とその継続的拡大」を実践すべく、地域社会・国際社会への支援活動を行い、広く社会の発展に貢献しています。中でも、未来を担う学生・子ども達に「ものづくり」や「理科」の楽しさを伝え、成長をお手伝いできる活動に力を入れています。

ロボコンへの協賛

当社は、未来を担う若き技術者の育成と科学技術の発展に寄与できることを願い、2002年より「高専

ロボコン」「ABUロボコン」、2004年より「大学ロボコン」に協賛し、継続して大会運営支援やモーターの提供などを行っています。

モーター支援

高専ロボコンへのモーター支援 累計約18,000個



ギヤヘッド付RS-555VC (上)
ギヤヘッド付RS-385PH (下)



JC/LC-578VA
他



ABUロボコン2013



大学ロボコン2013



高専ロボコン2013

ロボカップ世界大会に出場する地元中学校への協賛

オランダで開催された「ロボカップ世界大会2013」に出場した松戸市立小金中学校科学部へ、渡航資金の一部援助とモーター無償提供という形で応援しました。同校はスーパーチーム部門で、ワールドチャンピオン賞を獲得しました。



活動報告会

子ども達に「理科」の楽しさを伝えています。

理科出前授業

2008年より毎年、当社社員による理科出前授業を本社所在地域（松戸市）の小学校を対象に実施しています。

2011年からは、中国の江蘇マブチにおいても、社員による出前授業を中国蘇州日本人小学校で実施しています。



社員講師の話を熱心に聞く生徒たち

科学技術館での展示、イベント実施

1983年より科学技術館（東京都・千代田区）にて常設展示を行い、モーターの基本原理や私達の暮らしの中で活躍しているモーター、モーター工作などをわかりやすく紹介しています。また、2009年度から科学技術館との共催で、モーターの回る原理などを説明する理科実験教室を開催しています。



社員による理科実験教室



子ども達とともに「ものづくり」を楽しむ！

夏休み工作教室

本社所在地域（松戸市）の子ども達（小学4～6年生）を対象とした「夏休み親子モーター工作教室」を、本社社屋で毎年開催しています。社員が講師をつとめ、モーターと身近な廃材等を使った、動くリサイクル工作を、親子で協力して制作していただきます。完成後は、工作を動かして喜ぶ笑顔があふれます。



各班に一人
サポート講師を
配置



簡単発電機と横二輪車

東京モーターショー工作イベント

第43回東京モーターショー2013に付帯して同時開催された「SMART MOBILITY CITY 2013（スマートモビリティシティ2013）」のキッズ・ワークショップにて工作イベントを行いました。

多くの子ども達と保護者の方がご参加くださり、親子で工作を楽しみ、その場で完成品を動かして喜んでいらっしゃいました。



職場体験

本社では、地域小学校のキャリア教育の一環で行われている職場体験を継続的に受け入れています。

また、大連マブチでは、支援している希望小学校の生徒を招待し、職場体験を実施しています。



職場見学・体験（大連マブチ）

インターンシップ制度

これから社会に出ていく学生に就業体験の機会を提供し、働くことを実感してもらうことで当社の理念の理解を深めるインターンシップ制度を行っています。

2013年は高専生及び米国の大学生のインターンシップを受け入れました。



米国インターンシップ生による
英会話教室



高専生のインター
シップ（本社）

奨学金及び校舎建設の支援

大連マブチや道ジャオマブチでは、校舎の建設や奨学金の支給などの教育支援を行っています。この貢献により地元政府より複数の表彰を受けています。



大連市青少年教育基金に寄付
（大連マブチ）



希望中学校の生活困難学生への
支援金寄付（大連マブチ）



中学校のパソコン教室建設の支援
（道ジャオマブチ）



社会性報告

地域支援活動

当社は、地域の環境保護、自然災害による被災後の復興支援活動および社会福祉活動などを継続的に実施しています。



● 本社棟が第3回松戸市景観表彰（2013年度）「松戸景観大賞」を受賞

本社棟建設時には、『地域社会の共生』をコンセプトの一つとして、敷地内の開放的な前庭に、『ピオガーデン』と呼ぶなだらかに流れる水景と野原を配置しました。築9年を経た現在での受賞は、周囲の緑との調和に努めた植栽管理を継続してきた結果であると受け止めています。また、ここ数年取り組みを強化している生物多様性の保全に配慮した地域特有の植生の再現や、外来種の排除などを含め、建物全体と合わせた評価をいただいております。



受賞理由

- ・ 上質な煉瓦やガラスで仕立てられたマブチモーター本社棟は、自然豊かな庭園と一体となり、グローバル企業の気品と風格を漂わせている。
- ・ 周辺の道路環境を向上させ、みどり豊かな周囲の環境と調和することで地域環境の向上に貢献し、松飛台の印象を明るく先進的なものにしていく。
- ・ 生物多様性や地域固有の植生に配慮した庭園管理は、景観形成にとって重要な継続性を理解した質の高い取り組みとして特に評価される。

植林・美化・清掃活動を積極的に行っています。



町内清掃
(鷹潭マブチ)



水源地保護に優れた企業として
表彰されました（大連マブチ）



工場周辺の清掃緑化
(東莞マブチ)



植林活動
(大連マブチ)



地域支援

東莞マブチの社員ボランティアは、継続的に、社員から集めた衣類を貧困地域の人々に寄付する活動を実施しています。



台湾マブチは、地域振興のために開催された2013年のイベントに、長年地域からいただいた多大なる支援に感謝の意を込め、50,000台湾元を寄付しました。これに対し、市政府から表彰状をいただきました。

雇用創出に対する表彰

ダナンマブチは、輸出金額が高く、現地に多数の雇用機会を創出したことにより、(ベトナム)ダナン政府より、「2013年度ダナン市の経済と社会発展への貢献賞」を授与されました。



受賞式

献血活動

当社は、本社はじめグループ全体で積極的に献血活動に協力しています。



東莞マブチ



本社



台湾マブチ

社会福祉活動

お年寄りや子どもたちとの交流を大切にしています。

当社は、グループ全体で児童養護施設や老人ホームへの慰問活動を定期的に行っています。



老人ホームへの慰問活動
(東莞マブチ)



孤児院慰問
(鷹潭マブチ)



敬老院慰問
(瓦房店マブチ)



環境報告

環境マネジメント

当社は、1999年より本社及び全生産拠点到「環境マネジメントシステムISO14001」を導入し認証を取得しています。また、グループ全体及び本社、各拠点・各部門において環境目標を設定、徹底したPDCA管理を行い、積極的に環境マネジメントに取り組んでいます。今後も環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進し、高いレベルの環境保全活動を実施していきます。

環境マネジメントシステムの構築

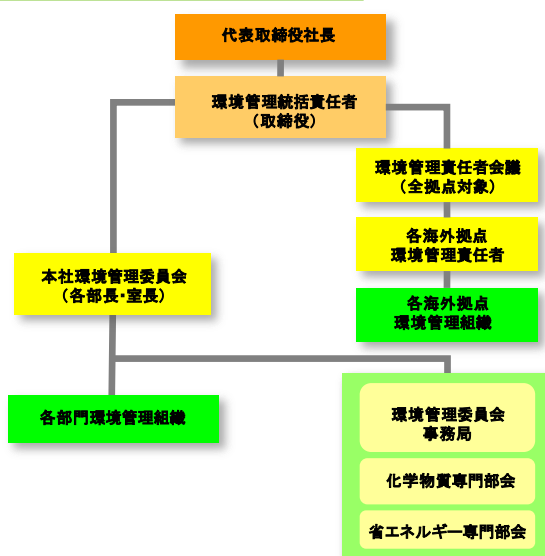
当社は、取締役が環境管理統括責任者として、グループ全体の環境マネジメントシステムを管理しています。本社では「環境管理委員会」を設置し、環境管理統括責任者が委員長となり、各部長・室長で構成されたメンバーで、マブチグループの環境方針、目標、施策などの審議、決定を行います。また、環境管理委員会の下には、化学物質専門部会、省エネルギー専門部会を設け、それぞれ専門的な施策を提案し環境保全活動を推進しています。

環境監査

当社の環境マネジメントシステムがISO規格の要求と合致しているか、有効に運営されているかについて、毎年、審査登録機関（第三者）及び社内での監査部門により監査を行っています。

これらの監査を通じて、環境管理レベルの継続的維持・向上を図っています。

環境管理組織図



マブチグループ 環境方針

私たちは、地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行い、環境マネジメントシステムを通じて継続的改善に努め、持続可能な社会を目指します。

1. 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防・防止に努め、事業活動が環境に与える影響を常に認識し、自主基準を設定して管理します。
2. 事業活動に伴う主要な環境負荷を軽減するため、以下について重点的に取り組みます。
 - 2.1 CO₂の削減と限りある資源を有効活用するために、省エネルギー、省資源化、リサイクル及び廃棄物の減量化に積極的に取り組みます。
 - 2.2 製品及び製造過程において、環境負荷物質の管理を徹底し、環境に負荷を与える物質は可能な限り代替物質への転換を行います。
 - 2.3 環境に配慮した部品・材料を積極的に使用する“グリーン調達”を行います。
 - 2.4 生物多様性の保全を企業の重要な課題と認識し、生態系に配慮した取り組みを推進します。
3. 従業員一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図るため、積極的に教育活動を行います。
4. この環境方針は、全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

マブチモーター株式会社
代表取締役社長

大越 博雄

制定： 1998年9月27日 改訂： 2013年3月28日



環境報告

グリーン調達

当社は、製品の原材料・部品などをお取引先様から調達する際に、法令、規制、お客様要求に加え、当社独自の基準を設け、この基準に定められた環境禁止物質について厳格に管理運用を行い、環境負荷の小さい部材を優先使用しております。また環境マネジメント規格であるISO14001の認証を取得したお取引先様から優先して調達することも考慮に入れております。

グリーン調達の推進

原材料の資源採取から、製造・加工、流通・販売、消費・使用、廃棄・リサイクルにいたる製品ライフサイクルにおける環境負荷の少ない製品の開発に取り組むためには、自社だけの環境保全活動では十分とはいえません。そこで、お取引先様の各種環境への取り組み状況も評価し、お取引先様とともに、環境負荷の低減や環境リスクの回避を図っていきます。

下図のように、お取引先様には、グリーン調達活動を実施のうえ、環境活動調査表に加えて、部品・材料に環境禁止物質が含まれないことを保証する書類を提出いただいています。

2013年は、大連マブチにて「グリーン調達説明会」を開催しました。マブチの環境禁止物質に関する管理要求を明確にし、リスクを極小化するためのグリーン調達の徹底をお願いすることで、当社のグリーン調達体制に対する理解をさらに深めました。

日常のお取引先様とのコミュニケーションや、環境負荷物質の使用・保管状況の監査活動を積極的に行う

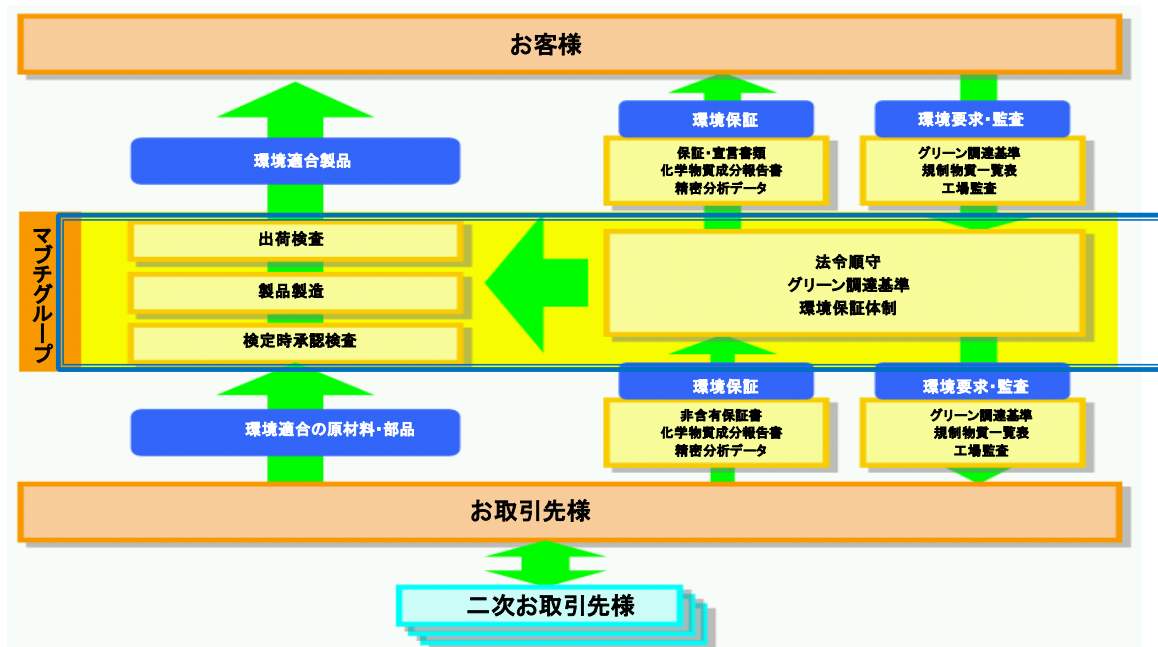
ことで、2006年の欧州RoHS指令の施行から現在に至るまで、お客様からの環境クレームは発生しておりません。

今後も、お客様、お取引先様とともにグリーン調達活動を進めていきます。



グリーン調達説明会（大連マブチ）

グリーン調達フローチャート





環境報告

環境にやさしい製品づくり

当社は、「小型直流モーター」の専門メーカーとして、お客様のニーズに応えながらモーターの持つ新たな可能性を追求し、さまざまな市場や用途で活躍するモーターを開発・生産してまいりました。モーター製品に有害な物質を含まないことを基本に、小型軽量化、省電力高出力化といったモーターのライフサイクル全体を通じて地球環境の保全に取り組んでいます。

精密・事務機器市場

2013年に発売を開始した「RS-645VA」は、磁気回路の最適化により、フェライト磁石を採用しながら体積・重量を約12%低減、レーザープリンター市場における、小型・軽量化や省電力のニーズに低コストで対応しました。



RS-645VA

サイズ: 直径35.8mm × 長さ50.0mm
(従来製品(※1)比で長さを7mm短縮)
重量: 約220g (従来製品(※1)比で30g軽量)

◇RS-645VAの特徴

1. 出力を維持し小型・軽量化
同等性能の当社従来製品(※1)と比較し、体積・重量を約12%小型・軽量化
2. ネオジム磁石不使用
モーターの小型・高出力化に有効なネオジム磁石を使用せず、一般的なフェライト磁石にて従来製品と同等出力を維持し、小型・軽量化を実現
3. 制御性を向上
コギングトルク(※2)の低減により制御性を向上、レーザープリンターに加え、インクジェットプリンターなど高い制御性が求められる用途での使用にも対応
4. エンコーダー(※3)システムを搭載可能
オプションで光学式エンコーダーの搭載が可能

※1 当社従来製品: RS-555VC

※2 モーターが1回転する間に発生する周期的なトルクの変動

※3 モーターの回転数や位置を検出する装置

エンコーダーモーターラインナップ拡充

当社の精密・事務機器用途を中心に、ご希望の多いエンコーダー搭載仕様を、標準ラインナップとして設定することで、多様なニーズに対応し、お客様の製品とともに省エネ化に貢献してまいります。

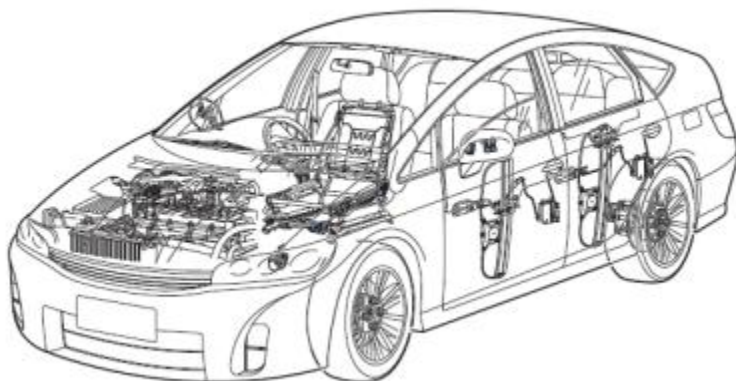
製品の特長

1. 光学式デジタルエンコーダーを採用
2. 分解能の異なる2種類のエンコーダーを設定
3. 当社の精密・事務機器用モーターにエンコーダー標準搭載仕様を設定



当社モーターの小型・軽量化により、精密・事務機器の省資源化・省エネなどに貢献することで、環境にやさしい製品づくりの一端を担っています。





自動車電装市場

2013年、自動車電装用途で求められる高い信頼性を確保したモーター RS-656WAを開発し、販売を開始しました。

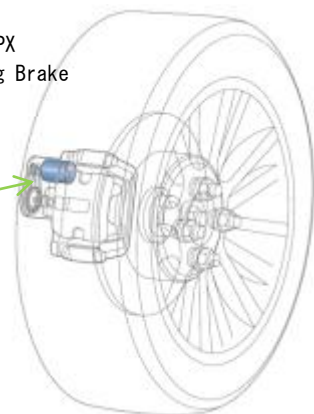
当社従来製品（※1）と比較し、高トルクかつ低振動、長寿命がこのモーターの大きな特徴であり、お客様の商品力を高めるお手伝いをしています。

現在、EPB（※2）をはじめ、さまざまな用途向けに採用をご検討いただいています。

※1 当社従来製品：RS-555PX

※2 EPB：Electric Parking Brake

パーキングブレーキ
用モーター



◇RS-656WAの特徴

1. 従来製品と同等サイズでトルクを向上
モーターの小型・高出力化に有効なネオジム磁石を使用せず、一般的なフェライト磁石にて従来製品と同等体積でありながら、約32%の高トルク化を実現
2. 振動の低減により静音性を向上
従来製品比で、モーター作動時の振動ピーク値を約10dB低減、実使用環境における静音性を向上
3. 寿命を向上
従来製品比で約2倍の長寿命を実現、耐久サイクルを倍増
4. 剛性を向上
シャフト径を4.0mmに拡大し高剛性化（従来製品は3.17mm）



RS-656WA

サイズ：直径35.8mm×長さ57.0mm
重量：約255g

開発・営業担当者の声

自動車電装用モーターとして、諸性能を極限まで追求しました。最近の新製品と同じく小型高トルクであるうえ、低振動化に成功したことで、これまでにない低メカノイズを達成したことがお客様に好評をいただいています。

このサイズのモーターは、さまざまな形で自動車に搭載されており、将来は「世界中のすべての車のどこかに一つは、このモーターが搭載されている」状況を目指して開発しました。（開発担当）



RS-656WAは剛性アップ・寿命アップといったお客様からのご要望にお応えしたうえで、出力を高め、静音性も向上させた製品となっております。さまざまなお客様に紹介をさせていただく中で特にご好評をいただいているのはEPBをご検討のお客様です。EPBは将来的にはドアロックなどと同様に標準装備になると考えており、営業活動に力を入れています。（営業担当）



当社モーターの高剛性化、高出力化、長寿命化などにより、自動車電装品の性能アップに貢献することで、環境にやさしい製品づくりの一端を担っています。





環境報告

環境にやさしい企業運営

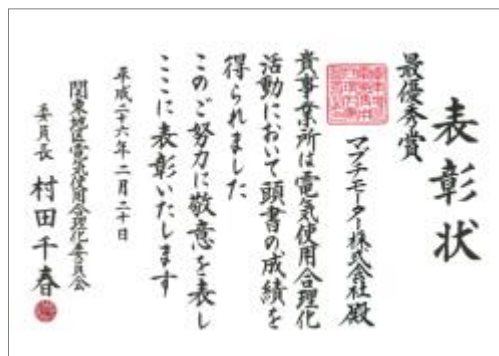
当社は海外拠点を含むグループ全体で、企業運営という視点でも、地球環境を保護するためにさまざまな工夫、改善、対策を継続的に実施しております。

本社

「エネルギー管理優良事業者 最優秀賞」を受賞

関東地区電気使用合理化委員会より「平成25年度 エネルギー管理優良事業者最優秀賞」を受賞いたしました。2008年に中長期省エネ計画を策定し、この計画に従って、さまざまな省エネ対策を確実に実施していることが高く評価されました。

千葉県印西市にある技術センターの24h系統温水二次ポンプ、冷却水ポンプのインバータ化工事を実施しました。これにより、年間31,870kwhの電力、CO₂排出量では約14.78 t-CO₂削減しました。



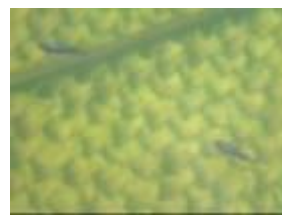
道ジャオマブチ

污水处理施設に関する省資源活動

道ジャオマブチでは、2013年に自工場内に排水浄化処理施設を建設し、工場内及び社員寮から発生した下水を処理し、工場内のトイレ用水に再利用しています。これにより、年間約93,000 tの廃水を再利用可能にしました。また、処理設備の改善を行うことで、消費電力を大幅に削減し、省資源活動を推進しています。



排水浄化処理施設



浄化完了後の再利用水槽で泳いでいる魚

江西マブチ

新工場建設時の環境に配慮した取り組み

2012年末に移働を始めた江西マブチは、工場建設当時から、環境にやさしい工場建設を念頭に、さまざまな環境対策を取り入れています。

- 1) 100,000m²の敷地面積を持つ工場内の屋外照明は全てLEDで、太陽電池と風力発電によってまかなわれています。これにより、年間43,000kwhの電力、約19.95 t-CO₂削減ができます。
- 2) 工場内雨水収集システムとともに生活用下水処理システムも建設し、この二つのシステムから生成した中水を1,200人の工場のトイレ用水に再利用しています。これにより年間約7,000 tの水道水を節約しています。
- 3) 厨房に従来のガスや軽油炉を採用せず、電磁調理システムを導入し、食事を作る際に発生する排気、廃塵を最小限に抑えています。さらに火災リスクも低減しています。

電磁調理システム



太陽電池+風力発電によるLED屋外照明



污水处理施設



ダナンマブチ

「国家グリーン環境のための賞」を受賞

ダナンマブチは、2013年にベトナム国家グリーン優良企業BEST30社として選ばれ、下記のことが認められ、「国家グリーン環境のための賞」を受賞いたしました。

- 1) 会社環境方針が定められている。
- 2) 工場運営において、環境負荷物質の使用禁止を厳しく管理している。
- 3) 環境配慮された製品を生産している。
- 4) 環境及びその他の法規制の違反がない。

◎この賞は、ベトナム政府が全国における企業に、ベトナムの環境保護、そのための先端技術の運用を促すために2013年度に新設されました。



江蘇マブチ

新工場棟の環境保護対策推進

2013年度、生産拡大の需要に応じて江蘇マブチに新しい工場棟が建設されました。建設にあたり、省エネ性の高い建物及び設備を導入するなど、さまざまな省エネ対策を取り入れました。

- 1) 室外は太陽電池による照明に、室内は全てLED照明を使用することで、従来より年間約60,000kwhの電力を削減。
- 2) 自動調整空調システムを導入し、従来より、年間約119,000kwhの電力を削減。
- 3) 自動制御コンプレッサーシステムの導入などにより、従来より年間約262,000kwhの電力を削減。

これらで、年間合計約441,000kwhの電力を削減できました。

また、男子トイレに無水洗浄小便器を導入し、従来より年間約300m³の水を節約しています。



LED照明



自動制御コンプレッサーシステム

大連マブチ

大気汚染対策のため石炭の使用を廃止

大連マブチでは、冬期の暖房に石炭ボイラーを使用してきましたが、石炭の使用は環境に大きな負荷を与えるため、2012年に近隣発電所の余熱を利用するシステムの導入を検討し、2013年より石炭の使用を完全に廃止しました。

これにより、スラグ（石炭の燃えカス）の年間排出量を500t、煤煙粉塵の排出量を年間約64t、二酸化硫黄の排出量を年間約85t削減したことに加え、CO₂の排出量も年間約14,000t-CO₂削減できました。

また、污水处理施設を設置し、排水の浄化に努め、水使用量の削減にも取り組んでいます。



工場内に設置された污水处理設備



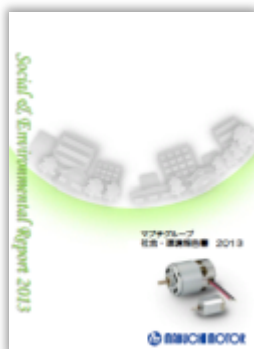
環境報告

環境コミュニケーション

当社は、さまざまな媒体を通じて、環境への取り組みにおける理念や、環境マネジメント活動の情報を社内外に向けて発信しています。これらの活動を通じて、社員にはもちろん、お取引先様をはじめ、広く社会の皆様へ、当社の環境保全への姿勢、取り組みへの理解を深めていただけるようにしています。

社会・環境報告書の発行 及びホームページによる環境情報発信

2001年より、当社の社会貢献・環境保全活動の実績をまとめた「環境報告書」（2008年に社会・環境報告書に変更）を作成し、ホームページ上で公開しています。また、海外においては、大連マブチが「持続可能な発展報告書」を発行しています。



ホームページ環境・社会貢献活動情報



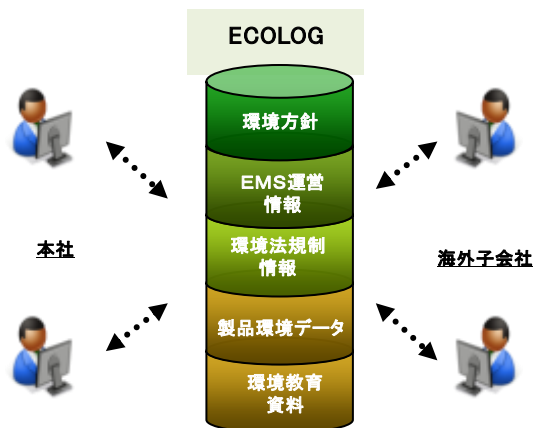
大連マブチ発行の環境報告書

環境コミュニケーション活動の展開

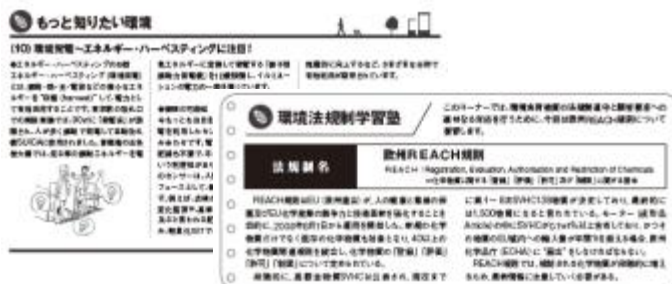
グループ全体で、環境情報の共有化及び環境保全活動を効率的に行うため、2000年から本社及び海外拠点の環境管理責任者で構成される「環境管理責任者会議」を毎年開催しています。

また、社内イントラネット上に「ECOLOG」という環境情報を集約したデータベースを作成し、グループ全体で運用しています。本社をはじめ世界各地の社員が、この「ECOLOG」を通して、さまざまな環境情報を共有し活用しています。

その他、社内報に環境情報を掲載し、当社の環境対応の現状や、最新の環境情報を紹介して社員の環境意識の向上を図っています。



環境管理責任者会議（テレビ会議）



社内報の環境関連記事



環境教育

社員の環境に関する意識、緊急事態発生時の対応スピードの向上を図るために、階層別、目的別の環境教育・訓練システムを構築し、実施しています。



化学物質を扱う社員への使用方法教育
(東莞マブチ)

環境を考える標語・ポスター作品コンテスト

社員の環境意識の向上を図るために、2006年より毎年、マブチグループ全体で「環境を考える標語・ポスター作品コンテスト」を開催しています。

2013年は本社食堂において、本社・海外合わせて14拠点から集まった125点の作品から選ばれた受賞作品を展示し、環境意識をより一層高めています。



2013年度コンテスト受賞作品の本社展示

☆2013年度の受賞作品

◇標語部門

- 节约出效益，环保促发展
「節約は利益なり、環境保全は発展なり」 (大連マブチ)
- 减少三废排放，保持两肺健康。
「三つの「廃」(廃液、固体廃棄物、廃気)を減らし、二つの「肺」を守ろう」 (東莞マブチ)
- 創造環保舒適的工作環境、是提高工作效率的推進劑,生產環保綠色產品、是走向世界的通行證。
「環境に優しい職場は業務効率を上げてくれる エコモーター は世界へつながるパスポート」 (路東マブチ)

◇ポスター部門



無駄を排除し
環境と利潤を両立させよう
(江西マブチ)



環境を守ることは、
生命を守ること
(道ジャオマブチ)



グリーンテクノロジー
企業が成長持続するための原動力
(東莞マブチ)



環境報告

環境リスクマネジメント

当社は、環境に重篤な影響を及ぼす事故（環境事故）を未然に防ぐため、徹底した化学物質の管理を行うとともに、緊急時の対応が速やかに行われるように訓練しています。また、土壌・水質汚染の調査・分析を行い、過去に使用した有害化学物質の残留が検出された場合には、速やかに適切な対応をしています。

緊急事態発生時の対応訓練

当社は、緊急事態発生時の環境汚染の予防・拡大防止のため、各自の業務特性に合わせて、さまざまなケースを想定した緊急時の処置・通報訓練を年一回以上の頻度で実施しています。



緊急事態発生時のコンデンサー油類漏洩防止訓練（本社）



化学物質漏洩防止訓練（本社）



化学品漏洩時の緊急対応訓練（瓦房店マブチ）



LPG保管場所での緊急時対応訓練（大連マブチ）

土壌浄化の取り組み

2002年、自主調査により本社敷地内の一部の土壌から環境汚染物質が検出されたため、管轄行政（松戸市）に汚染状況を届け、土壌の浄化作業を開始しました。

2004年には、子会社の工場閉鎖に伴う土壌汚染状況の調査からも環境汚染物質が検出されたため、管轄行政（群馬県）に届けるとともに、土壌の浄化作業を開始しました。

上記2箇所における高濃度汚染域の浄化は完了しており、現在は低濃度の汚染域の浄化を継続して行っております。

当社は、これらの浄化作業の実績及び今後の方針に

ついて、毎年定期的に松戸市及び群馬県の行政機関に報告し、了解を得た上で次年度の浄化に着手しています。

一方、台湾高雄市の高雄マブチにおいて、敷地内の地下水から汚染物質が検出されたため、2013年末から地下水浄化作業に取り組んでおります。こちらについても台湾行政府の指示と承認のもと、今後も引き続き着実に汚染浄化に取り組んでまいります。

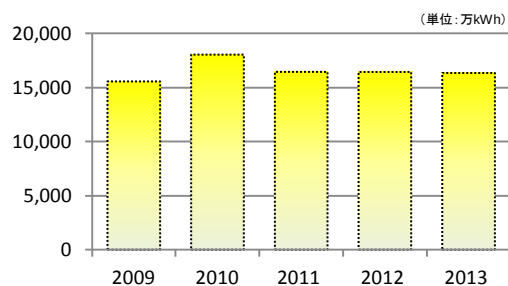


環境報告

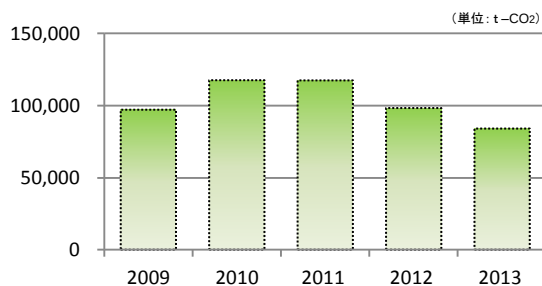
環境データ

※ このグラフはマブチモーター本社及び主な海外生産拠点のデータを元に計算したものです。

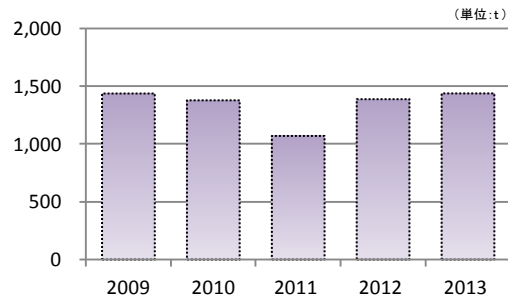
購入電力量



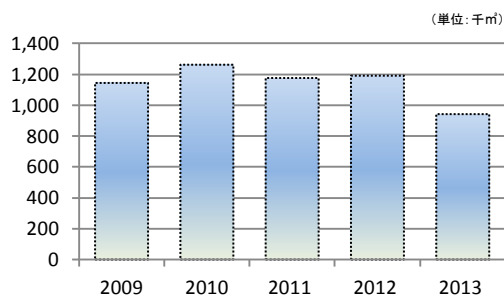
CO₂排出量



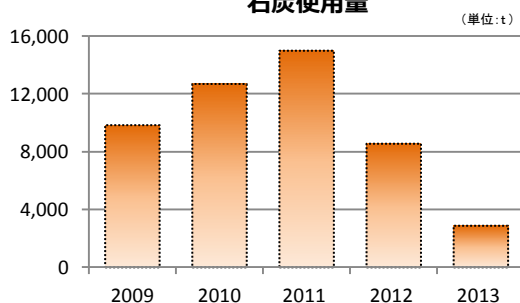
最終廃棄物量



水使用量



石炭使用量



※石炭の全廃に向け取り組んでいます。
(2013年度石炭利用は瓦房店マブチのみ)

	単位	2009	2010	2011	2012	2013
購入電力量	(万kWh)	15,568	18,049	16,454	16,443	16,351
CO ₂ 排出量	(t-CO ₂)	97,137	117,618	117,487	98,301	84,057
最終廃棄物量	(t)	1,436	1,377	1,069	1,387	1,437
水使用量	(千m ³)	1,144	1,262	1,176	1,191	942
石炭使用量	(t)	9,836	12,685	14,986	8,551	2,876



お問い合わせ

〒270-2280

千葉県松戸市松飛台430

マブチモーター株式会社

管理本部 総務部

TEL: 047-710-1111

E-Mail: kankyo@mabuchi-motor.co.jp

<http://www.mabuchi-motor.co.jp>